

第 14 回（2016 年度）土壌物理学会（論文賞）選考結果

土壌物理学会 学会賞選考委員会
委員長 溝口 勝

学会賞選考委員会として下記の論文を論文賞としてふさわしいと決定しました。

1. 小島 悠揮 （東京大学大学院農学生命科学研究科）
三石 正一 （AINEX. Co., LTD.）
溝口 勝 （東京大学大学院農学生命科学研究科）

2. 対象論文

気象・土壌観測データと現地画像をリンクした農地 ICT モニタリングの有効性 — 高冷地キャベツ畑における解析事例, 土壌の物理性, 第 131 号, p. 5-13, 2015.

3. 推薦理由

本研究は、近年進歩が著しいフィールドモニタリング技術を駆使し、気象・土壌観測データと現地画像をリンクした農地 ICT モニタリングの有効性を孺恋のキャベツ畑で検証した論文である。数値データと画像データをリンクすることで、数値データをより深く解釈できることを実証した点が興味深い。フィールド研究に対する新しい手法の適応事例として重要な研究である。

論文の質としては全体的に荒削りな感があるが、読者に「自分も測ってみたい」と思わせる勢いが感じられる。今後、こうした方法による現場解析は増やす必要があり、その意味では今後の研究の可能性を与える論文として評価できる。

以上の理由により、対象論文は第 14 回土壌物理学会賞（論文賞）に値するものと認め、ここに推薦する次第である。

本結果は 2016 年 10 月 29 日に開催された評議員会ならびに総会にて全会一致で承認され、総会後に授賞式が開催されました。

第 14 回（2016 年度）土壤物理学会（ポスター賞）受賞者

土壤物理学会 学会賞選考委員会
委員長 溝口 勝

開催日：2016 年 10 月 29 日

会 場：2016 年度土壤物理学会大会ポスターセッション会場
(京都市：京都大学吉田キャンパス農学部総合館)

以下の発表が会員および選考委員会による投票によりポスター賞に選ばれました。

- 業 績：TDT センサーを用いた諫早湾干拓土中の塩分モニタリング
著 者：平嶋雄太・牧野弘樹・弓削こずえ・宮本英揮

- 業 績：宇宙線中性子観測に基づく盛土斜面の土壤水分観測
著 者：牧野弘樹・平嶋雄太・末次大輔・宮本英揮

- 業 績：浸透過程にある 3 種の不飽和土における窒素の吸着と硝化
著 者：中西真紀・渡辺晋生

- 業 績：土壤のマクロ団粒化が酵素による土壤有機態窒素の加水分解に及ぼす影響
著 者：福柁純平・Shaw Liz・森 也寸志

- 業 績：土壤パイプが閉塞した際の斜面の水文応答
著 者：山崎琢平・井本博美・濱本昌一郎・西村 拓

130 号の訂正とお詫び

土壌物理学学会編集委員長

Yanagawa et al. の論文「Comparison of drought tolerances in a root water uptake model for two co-occurring grass species in Mongolia」において下記のような誤りがありました。お詫びいたしますとともに訂正をお願いいたします。

4 ページ 左 48 行目

(誤)

represented by the root length density (cm^{-2})

(正)

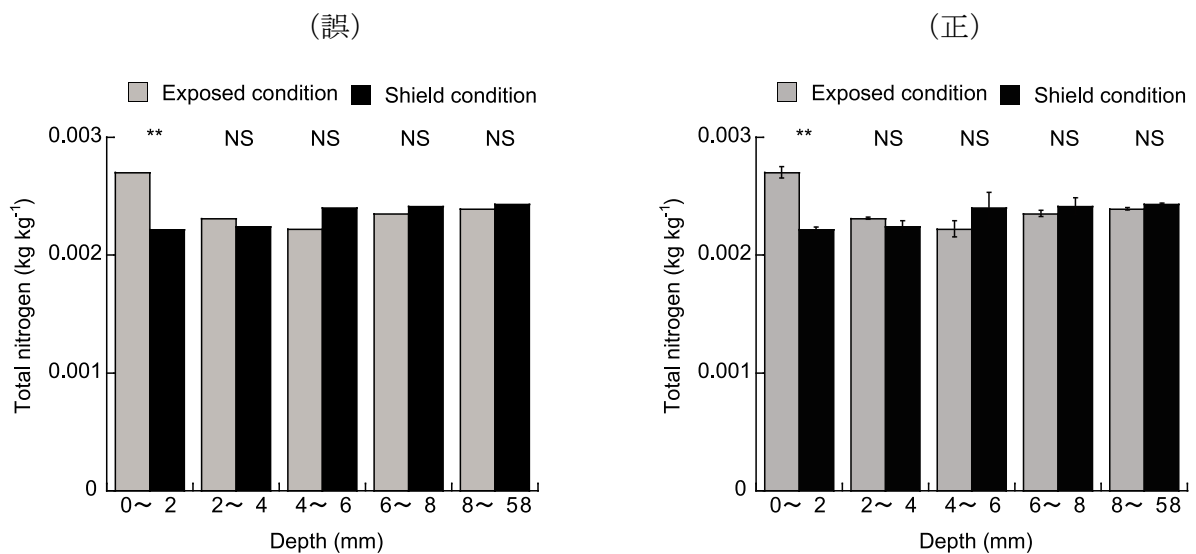
represented by the root length density ρ (cm cm^{-3})

131 号の訂正とお詫び

土壌物理学学会編集委員長

荒生らの論文「湛水下の水田表層土における太陽光の透過性と全窒素量の変動」において下記のような誤りがありました。お詫びいたしますとともに訂正をお願いいたします。

Fig. 5 (エラーバー)



131 号の訂正とお詫び

土壌物理学会編集委員長

小島らの論文「気象・土壌観測データと現地画像をリンクした農地 ICT モニタリングの有効性 — 高冷地キャベツ畑における解析事例」において下記のような誤りがありました。お詫びいたしますとともに訂正をお願いいたします。

Fig. 3 説明文

(誤)

葉濡れセンサ出力と相対湿度.

Output of leaf wetness sensor and relative humidity.

(正)

葉濡れセンサ出力と降水量.

Output of leaf wetness sensor and precipitation.

Fig. 4 説明文

(誤)

9月7日から9月11日まで無降雨期間の葉濡れセンサ出力と降水量.

Output of leaf wetness sensor and precipitation during no rainfall days (9/7/2008 – 9/11/2008).

(正)

9月7日から9月11日まで無降雨期間の葉濡れセンサ出力と相対湿度.

Output of leaf wetness sensor and relative humidity during no rainfall days (9/7/2008 – 9/11/2008).

9頁 右 22行目

(誤)

332.7 mm で、蒸発散量を大きく上回っていた.

(正)

554.7 mm で、蒸発散量を大きく上回っていた.

132号の訂正とお詫び

土壌物理学会編集委員長

齊藤らの論文「表層地盤におけるフィンガー流の発生と物質輸送に関する数値実験」において下記のような誤りがありました。お詫びいたしますとともに訂正をお願いいたします。

Table 1 r の単位

(誤)

mm hr

(正)

mm hr⁻¹

Fig. 11 説明文

(誤)

S_{wa} と a'_L の関係.

Relationship between S_{wa} and a'_L .

(正)

S_{wa} と a'_L の関係.

Relationship between S_{wa} and a'_L .